

令和2年産第5号

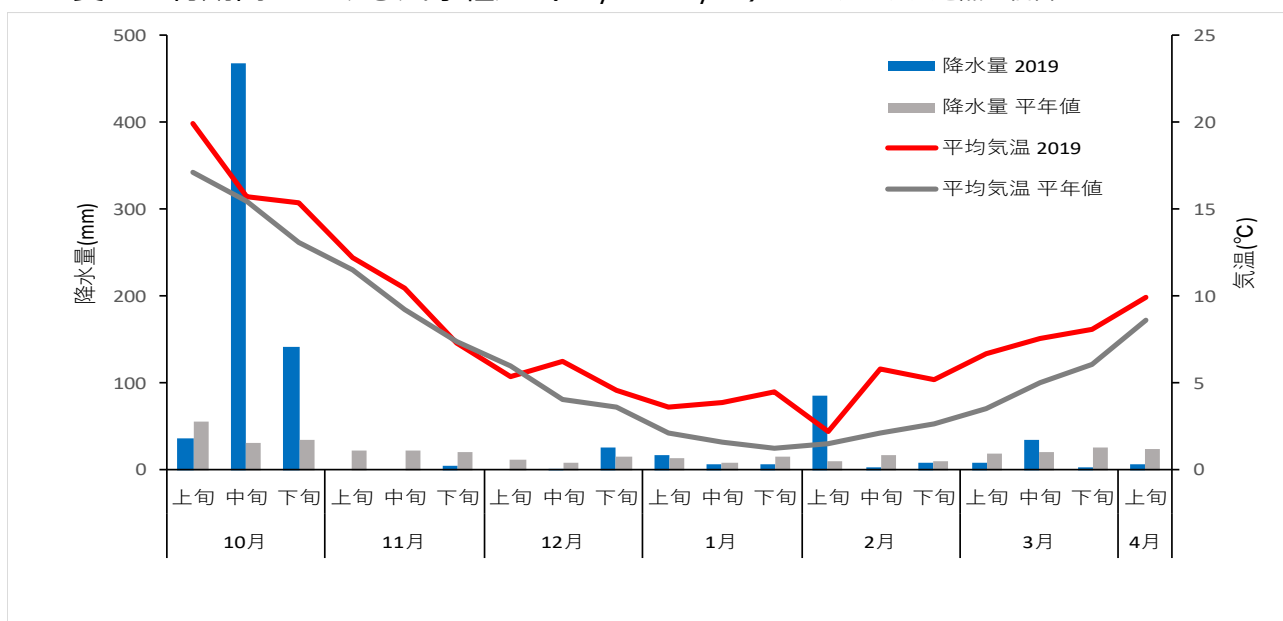
仙台麦作情報

令和2年4月15日発行
仙台農業改良普及センター
TEL 022-275-8410

栽培管理のポイント

赤かび病の防除時期に注意しましょう！

1 麦の生育期間における気象経過（10/上～4/上） ※アメダス地点 仙台



2 東北地方の向こう1か月の天候の見通し（4/11仙台管区气象台発表）

予報のポイント

○向こう1か月の気温は、平年並か低いでしょう。

○期間の前半は寒気の影響を受けやすく、気温は低い見込みです。期間の後半は平年並か高いでしょう。

○向こう1か月の降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込みです。

3 大麦生育調査結果（4月10日付け調査）

県生育調査ほ（ホワイトファイバー）においては、播種遅れから茎数が前年の7割程度となっておりますが、暖冬傾向のため幼穂の長さは前年並みに伸長しています。

品 種	調査地点	調査年	播種日	草 丈 cm	茎 数 本/m	幼穂長 cm
ホワイトファイバー (県生育調査ほ)	大和町落合	本年	11/18	24.3	540	0.4
		前年	11/ 3	24.5	768	0.5
シュンライ	仙台市若林区三本塚	本年	11/12	40.1	700	1.8
ホワイトファイバー	同上	本年	11/10	34.4	588	2.0

※本年：令和2年産 前年：令和元年産



大和町ホワイトファイバー



仙台市シュンライ



仙台市ホワイトファイバー

4 今後の栽培管理～赤かび病の防除～

麦類の赤かび病は、子実収量や品質を低下させる重要病害です。本病菌は人畜に有害なかび毒を産生するため、農産物検査では食用麦の赤かび粒混入限度が0.0%（1万粒のうち4粒まで）となっています。このため、予防防除を徹底し、発生防止に努めましょう。

- ・赤かび病は開花期前後にかけて降雨が続くと発生が多くなります。
- ・仙台区気象台4月11日発表の向こう1か月の降水量は平年並と予想されています。今後の天候に注意し、出穂状況をよく観察して防除を行いましょう。
- ・シュンライ及びホワイトファイバーは、赤かび病抵抗性が「やや弱い」なので、適期防除に努めましょう。

【防除対策】

- ・薬剤防除は、2回防除が基本となり、1回目が開花始期～開花期、2回目はその7～10日後が適期です。生育状況をよく観察し、適期を逃さないよう防除を行いましょう。
- ・「夏黄金」の防除は3回を基本とし、3回目の防除は2回目の7～10日後に実施します。
- ・「シラネコムギ」では、開花期が早くなるほど発病リスクが高まります。
- ・各品種の出穂期について、「ホワイトファイバー」は「シュンライ」より1～2日遅く、「夏黄金」（小麦）は「シラネコムギ」と同程度です。1回目の防除のタイミングに注意しましょう。

生育調査ほにおける出穂期及び開花期の予測（4月9日現在）

	大麦	出穂期	開花期	備考
大和町	ホワイトファイバー	5/4	5/10	大衡アメダスデータ使用
仙台市	シュンライ	4/21	4/28	仙台アメダスデータ使用
	ホワイトファイバー	4/22	4/29	

※普及に移す技術第91号参考資料「麦類の生育ステージ予測シート」を参照して作成

【参考】出穂期（出穂率40～50%）から開花期に達するまでの日数

日平均気温℃	大麦			小麦		
	開花始	開花期	開花終期	開花始	開花期	開花終期
10	8	11	14	14	19	24
13	6	9	12	11	15	19
15	5	7	9	9	12	15
18	3	5	7	6	8	10

※普及に移す技術第83号参考資料「麦類の出穂期を基準とした開花期予測」